

第2学年 「ざいりょうのへんしん」(つくりたいものをつくる) 学習指導案

1 授業構成

目標と表現内容

本題材は身のまわりの材料をいろいろに見立てることで発想させ、楽しく造形活動を行いながら、見る目や柔軟な発想力を養うことをねらいとしている。

目標

- 身の周りの材料をいろいろな方向から見つめ、その形や色に楽しく関わっていくことができる。
- 材料の特徴から、いろいろな形をイメージして、つくりたい生き物をつくることができる。
- できたものに名前をつけて、お互いの作品を見せ合い、よさに気付くことができる。

表現内容

○何を：生き物

○何で：身近な材料(文具・日用品・空き容器など)と付加材料(テープ・モールなど)で

【造形要素】

- ・材料の色・形やイメージ
- ・立体表現
- ・設置

○どのようにして：

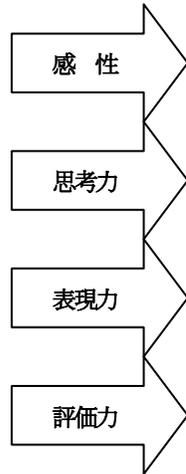
- ・材料のもつ色・形や手触りなどに着目して見立てて
- ・表したい形になるように、組み合わせたり加工したり飾ったりして

子どもの実態と本題材でつきたい力

本学年の子どもたちは、1学年で「はこ ハコ はこ(絵や立体に表す)」で、箱を組み合わせて自分のお話に合うロボットをつくる活動で見せた以下の実態から、本題材でつきたい力を以下のように考えた。

◀ 子どもの実態 ▶

- ・箱を積んだり組み合わせたりしてできる形を楽しみ、自分の思うロボットになるように色や形を選ぶことができた。
- ・お話に合うロボットになるように、箱の特徴を生かし(組み合わせたり、付け加えたりして)形づくっていった。
- ・のりやセロテープなどで接着・接合し、次々に箱をつないでいったが、丈夫につくテープの使い方ができていなかった。
- ・自分のロボットの自慢を発表し、友達のロボットのよさを見つけることができた。



◀ つきたい力 ▶

- a 材料のもつ色や形からイメージをふくらませ、材料がへんしん(変化)していく過程を楽しむことができる。
- b 材料の特徴を感じ、いろいろに見立てることができる。
- c 見立てをもとにイメージを広げ、材料を組み合わせたり、加工したりして、生き物をつくっていくことができる。
- d 付加材料の特徴を生かすことができる。
- e 材料に合う接着・接合を選び、丈夫にくっつけることができる。
- h へんしんした面白さ、材料の感じなどに気付き、話したり聞いたりして、見方を深めていくことができる。
- i 交流し、自分のよさに気付く。

4つの力を働かせ、認知する活動や手だて

本題材の指導にあたっては、子どもが上記の力を働かせ認知することができるように、教えることを下記のように明確にし、以下の活動を設定する。また事前に「見取りたい子どもの姿」を設定し、見取り表を用いながら共感的な価値付けを行っていく。

◆ 教えること

- ・参考作品の設置
- ・見立てのモデル演示
- ・材料の組み合わせ方や飾り方の提示
- ・接着・接合の演示と資料
- ・加工の仕方の演示と資料

㊟ 探求活動

- a 材料コーナーの設置
- a b c 見立てのモデル資料の設置
- c 聞き取りによる思いの掘り起こし
- d 参考作品による加工の仕方、飾り方の提案
- c 接着・接合に使うものの資料提示

㊟ 交流活動

- i 生き物の場の設置をし、鑑賞会を開く
- i がんばりや工夫を言葉で説明する。
- i 交流活動での情報交換

㊟ 振り返り活動

- h i 話したり聞いたりして
- h i 振り返りノートによるよさの気付き

共感的価値付け

- ・見取りたい子どもの姿の設定
- ・見取り表の作成
- ・言葉掛け
- ・コメント書き
- ・聞き取り
- ・まとめの価値付け

2 指導計画（4時間）

◆教えること ㊦探求活動 ㊧交流活動 ㊨振り返り活動

配時	発想・構想 ①	表現 ②③（本時2/4）	鑑賞 ④（本時4/4）
話 な 動	1 身近な材料で遊び、友達と話し合いながらイメージを広げる。	2 自分がつくりたい生き物をつくる。	3 自分の作品のよさ、自分のがんばり、友達の作品のよさに気付く。
見 取 り ど た も い の 姿 の 例	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な材料を見て材料の特徴をもとに見立て遊びをする。 ・1つの材料を見立て交流する。 ・身近な材料の中から自分の使いたいものを探そうとする意欲をもつ。 ・自分の活動のよさや課題に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の特徴を生かしてつくりたいものを発想する。 ・何に見立てたかははっきり分かるように飾りを工夫する。 ・テープ・ボンドなどの接着、輪ゴム、モールなどの接合方法から、自分にあったものを選ぶ。 ・形を生かした加工の仕方を考える。 ・自分の活動のよさ、課題に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の形を生かした加工の工夫に気付く。 ・接着、接合の工夫をしていることに気付く。 ・自分の発想のよさや成長に気付く。 ・つくりあげた満足感を味わう。
か せ る を 認 手 働 か す か す	<p>◆ 参考作品・見立てのモデル（提示・演示）</p> <p>㊦材料コーナーの設置</p> <p>㊧見立て遊びの体験</p> <p>㊨グループ交流 ㊩振り返りノート</p>	<p>◆接着・接合・加工の仕方</p> <p>㊦材料コーナーの設置</p> <p>㊨振り返りノート</p>	<p>◆作品の見方</p> <p>㊦材料コーナーの設置</p> <p>㊧ワークショップの設定と全体交流</p> <p>㊨振り返りノート</p>
学 習 活 動 と 内 容 (O)	<p>(1) 1つの材料からどんなものに「へんしん」するか話し合う。</p> <p>○見立てることに興味をもち、見立てを行うこと (感)</p> <p>○様々な角度から見て発想を広げること (感)</p> <p>(2) 数種類の材料からグループで見立て遊びをし全体で交流する。</p> <p>○材料を組み合わせで見立てをすること (感・思)</p> <p>○グループで話し合うことによってイメージを広げること (感)</p> <p>(3) 自分の使いたい材料を考える。</p> <p>○今までの活動を参考にしながら、生活の中にある道具などで、使えそうなものを考える (思)</p> <p>(4) 自分の活動を振り返る。</p> <p>○自分のよさや課題に気付くこと (感)</p>	<p>(1) つくろうと考えているものを紹介する。</p> <p>○自分がつくろうとするものはっきりイメージすること (感)</p> <p>○つくる手順の見直しをもつこと (思)</p> <p>(2) 自分がつくろうと考えている生き物をつくる。</p> <p>○材料の組み合わせや加工のしかた、飾りの付け方を工夫すること (思・表)</p> <p>○作品にあった接着、接合の方法を選ぶこと (感・思・表)</p> <p>○資料を見たり友達や先生と相談したりし問題を解決すること (表)</p> <p>(3) 自分の活動を振り返る。</p> <p>○自分のよさや課題に気付くこと (評・感)</p>	<p>(1) グループで自分の作品を紹介したり、友達の作品を見て感想を言ったりする。</p> <p>○ねらいに即した視点を持って自分のがんばりや工夫、作品の紹介を言葉で説明すること (評)</p> <p>○友達の作品のよさに気付き言葉に表して伝えること (評)</p> <p>(2) グループの中で見つけた友達の作品のいいところや友達の取り組みのいいところをクラス全体で紹介する。</p> <p>○おもしろい見立てや飾りの工夫などに気付くこと (評)</p> <p>(3) 自分のがんばりや成長を振り返る。</p> <p>○振り返りノートに今日の自分の成長や友達のよさを書くこと (評)</p> <p>○自分のよさや課題に気付くこと (評)</p>

2 / 4時間

第2学年 本時図画工作科学習指導案

6 展開

3 本時目標

- 見つけてきた材料の形を生かして、自分のつくりたい生き物をつくることができる。
- 自分の活動のよさや友達のアイディアのよさに気付くことができる。

4 授業仮説

以下の活動を設定し共感的な価値付けを行えば、材料の特徴を生かした見立てを行い、楽しみながらつくることができるであろう。

- ㊦前時見立てたときの写真資料
- ㊦材料コーナーの設置
- ㊦接着・接合の資料
- ㊦振り返りノート
- ㊦参考作品の設置

5 準備

子ども…材料、飾り、ボンド、のり、テープ、はさみなど
 教師…材料コーナーの材料、ふりかえりノート・ヒントコーナーの資料

主な学習活動と内容 (○)	力を働かせ認知する活動と手立て及び教えること (◆)	見取りたい子どもの姿の例
1 つくろうと思っている生き物を確認し、めあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">ざいりょうの形を生かして、わたしだけの生き物にへんしんさせよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のめあてをつかむこと (評) 2 自分の考えた生き物をつくる。 ○飾りの付け方について、参考作品をもとにいくつかの例を知ること (思・表) ○接着・接合の仕方を知ること (思・表) ○つくりたい生き物に合う材料を選ぶこと (感・思・表) ○材料を組み合わせる生き物をつくること (感・思・表) ○材料の効果的な加工の仕方を考え、つくること (感・思・表) 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦図工ノートを見て、つくろうと思っている生き物を確かめさせる。 ㊦接着・接合の仕方の資料コーナーを設置する。 ◆材料によって、接着・接合の仕方が変わること ㊦自分が表したい思いに合わせて、材料を選び構成を工夫する活動提案をする。 ◆切る・曲げる・折るなど材料を加工すると、さらに表現の幅が広がること ◆形や組合せの面白さがあること ㊦どう表現するか思いつかない場合、アイデアスケッチで確かめさせ、言葉かけをすること。 ㊦グループで見せ合い、お互いのよさを認められるようにする。 ◆見立ての面白さ、付加材料でいろいろ工夫できること 	<p>・自分のつくりたいいきもののアイデアスケッチを見て、今日の活動の見通しをもっている。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;">たわしをハリネズミに見立てたからしっぽをつけるよ！</div> <p>・いろいろな接着・接合方法を知り、どこにどの方法でつければいいのか考えている。</p> <p>・自分の持ってきた材料で、何を付ければいいのか考えている。</p> <p>・いきものに見えるように材料を加工している。</p> <p>・困ったことを友達や先生に相談している。</p> <p>・資料コーナーを見に行きよい方法を考えたり、材料コーナーに行き自分にあつた材料を選んだりしている。</p> <p>・友達の作品を見たり自分の作品を紹介したりしている。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;">カタツムリにへんしんしたね！形がおもしろいよ！</div>
3 本時の活動を振り返り交流して、次時の活動への見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ○自分のよさや課題に気付くこと (評) ○さらに工夫したいイメージをもつこと (思) ○活動の楽しさやできるようになったことに気付くこと (感・評) 		